

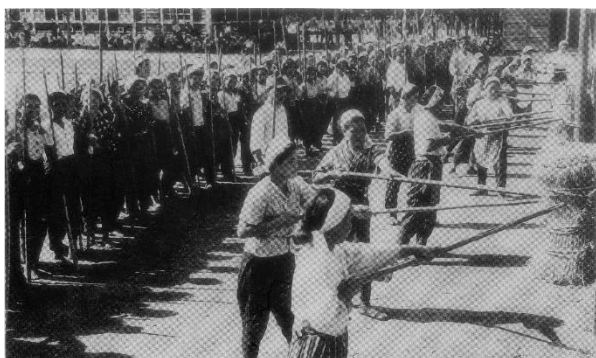
高等女学校の射撃訓練



(新発田市昭和 7 年)

新発田高女では 4 年生に週 1 回射撃を含む軍事教練を始めた。歩兵用の銃を使って練兵場でおこなわれた。そのほかの高女でも教練があった。(写真は「写真記録 にいがたの女性史」旧土出版社より)

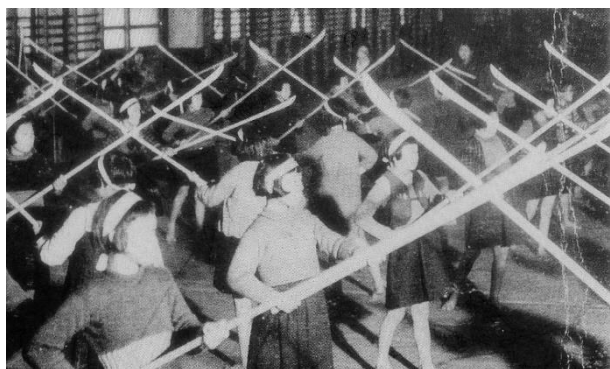
竹槍訓練 (新潟市 昭和 18 年頃)



戦局が厳しくなるにつれ、県下でも竹槍訓練が盛んに展開された。ここでも中心は女性であった。(写真は「写真記録 にいがたの女性史」郷土出版社より)

小学校でも薙刀の訓練

(新潟市・昭和 15 年頃)



昭和 14 年頃から、小学校でも高学年の女子が、週 1 回の授業を受けた。大きなかけ声で木のなぎなたを振った。(写真は「写真記録 にいがたの女性史」郷土出版社より)

街頭での千人針 (新潟市・昭和 15 年)



女学生も街頭に立ち、針目を行き交う人に縫ってもらい、出征兵士の生還を祈った。(写真は「新潟歴史博物館」提供)

軍人の指揮のもと行進

(小出町 昭和 10 年代)



日中戦争が始まると、国防婦人会などが總會をかねて閲兵式を行い、千人、2 千人規模の行進も珍しくなかった。(写真は「写真記録 にいがたの女性史」郷土出版社より)

防毒マスクをつけて訓練

(新潟市・昭和 12 年)



新潟高等女学校では 1,200 人の生徒が手製の防毒マスクをつけて空襲時の

避難訓練を行った。(写真は「新潟歴史博物館」提供)